

各 位

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル
 代表者 代表取締役社長 鈴木 健史
 (コード番号 9695)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 四野宮 章
 (TEL 04-7094-5581)

特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成24年5月14日付「平成24年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,700	60	10	60	5.75
今回修正予想(B)	1,688	△39	△76	58	5.63
増減額(B-A)	△12	△99	△86	△2	
増減率(%)	△0.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,504	△74	△92	△94	△9.09

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	△30	△130	△40	△3.83
今回修正予想(B)	3,188	△129	△216	13	1.25
増減額(B-A)	△12	△99	△86	53	
増減率(%)	△0.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	2,981	△188	△240	49	4.70

修正の理由

- 特別利益の発生について
 東京電力株式会社の福島第一原子力発電所における事故に伴う観光風評被害の損害賠償額につきまして、現在、第2四半期賠償額として64百万円を請求しており特別利益に計上いたします。
- 平成24年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正の理由
 (1) 第2四半期累計期間業績予想について
 主力施設である鴨川グランドホテルが東日本大震災に伴う津波・放射能汚染等の風評被害の影響から回復が遅れており、宿泊客は震災直後に比べ大幅に増加したものの、競争激化により宿泊単価の下落が続く等厳しい状況を余儀なくされております。ホテル西長門リゾートにおきましては震災の影響は少ないものの、主な営業地盤である山口県や九州地区の景気低迷の影響等で団体客の減少が続く苦戦いたしました。一方、ビジネスホテルは都内に新名所がスタートした効果等により持ち直しつつあります。このような状況の中、営業収益は、前回予想額から12百万円減少の1,688百万円を見込んでおります。収益につきましては、徹底した人件費・経費の削減に取り組みましたが、宿泊単価の下落等の影響が大きく、営業損失39百万円と前回予想を大幅に下回りました。経常損失は前回予想額より86百万円減少の76百万円、四半期純利益は前回予想額より2百万円減少し58百万円の見込みであります。
 (2) 通期の業績見直し
 国内旅行は法人需要の停滞や東日本大震災に伴う風評被害の影響が依然として強く残る中、領土問題に端を発したインバウンドの大幅減少と、その影響による国内顧客の獲得競争の激化が予想され、営業収益につきましては大幅な改善は見込めない状況であります。収益につきましては、引続き人件費・経費の圧縮に取り組んでまいります。営業損失、経常損失とも予想を大きく上回る見込みとなりました。当期純利益は前回予想額より53百万円改善し13百万円を見込んでおります。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。